



おおさか



オリンピアはアメリカワシントン州の州都でありながら人口約45,000人、美しい山々を望むことのできるエバーグリーンステイツの名にふさわしい心地よい町。17人のアンバサダーは9月24日から9月30日までオリンピアクラブに渡航し心のこもったもてなしを受けた。

FF Olympia was very happy to host FF Osaka in September. We shared many adventures and traveled many miles during our week together. Our itinerary included some of the best things our region has to offer: the natural beauty of Lake Quinault, rain forests, Puget Sound, and many rivers; the local history and economy of the Olympia Brewery, Boeing Factory, and our salmon; and the beautiful state capitol building-and more! But the best part for us was getting to know our new friends. By the time we shared our farewell dinner and wonderful kimono dances we had made many new friendships that we will treasure for many years to come. Arigato gozaimashita!

Yours in friendship,

Ann Smith, FF Olympia
Host Coordinator



オリンピアへはなんとしても行きたいとの一念からACに名乗りを挙げたが、Sub-ACの池田さんや皆さんの支えがあって何とか無事責務を果たすことが出来た。HCのMs. Ann Smithとのメールのやり取りは、昨年6月から始まり60回を優に超えた。Annさんからのメールには、いつもちょっとした日本語が添えられ、丁寧で分かりやすく私への配慮が感じられた。各行事についても、資料の和訳やボランティア通訳の活用、遠方へ行く場合はバンのレンタカーやフェリーを使う等の工夫が随所に見られ、私達の滞在をいかに楽しく快適なものにする

かその気配りには感銘を受けた。ホスト・デイホストの役割分担や、ランチホストに加えてスナックホスト等参考にしたいことが山ほどあった。(AC 金山忠夫)

ホームステイ日誌

9月24日(火)…心配していた

前日までの台風の影響もな

く、デルタ航空シアトル行きは定刻 16 時に関空を出発、予定より約 1 時間早く、同じ 24 日の 8 時 50 分にシアトル国際空港に到着し



た。曇天で気温は大阪よりも 10 度ほど低く、肌寒い。HC の Ann

さんと、同じ名前の Anne さんが出迎えてくれ手配してくれた貸切バンに分乗してハイウェイを約 1 時間、オリンピアの中心にあるショッピングセンター駐車場に到着。ここで出迎えの各ホストと対面、それぞれの家に向かった。ウエルカムディナーは、ゴルフ場にあるレストランで。

Ann さんの時折日本語を交えた軽妙な司会で、素晴らしい出会いにみんな

で乾杯、これから始まる一週間に心が躍った。(金山順子)

9月25日(水)…まず、1896年にオリンピアビール会社を

設立したシュミットハウスを見学し醸造所の本拠地デシュテス川のタムウオーター滝に沿って遊歩道を歩いた。川にはちょうどこの時期に太平洋から戻った鮭が沢山勢いよく泳いでいた。次に海岸近くのアバディーンに車で行き鮭の稚魚の孵化場を訪



問。何千年もの間、

鮭はネイティブアメリカンの人々の儀式と生活にとって重要であったとの事。最後には小規模ではあるが農業代表としてのウエストポートワイナリーを訪れた。夕食はホストの Jo Ann & Mike 宅で Karen 会長夫妻他 1 人を招いて、はつ子がちらし寿司をふるまい大変喜んでもらった。(池田政綱・宗廣はつ子)



9月26日(木)…冷たい雨の中、2台のバンで8時20分出発。途中で雨は

止むが、大渋滞の中港へ。フェリーに乗り、一路ボーイング社へ。3時間半かけて到着。端から端まで500mはある幾つもの工場の中、2工場をバスで移動し見学。747型、767型、777型、787型が組み立てられている巨大工場の中に、人影はほとんど見られない。ロボットでの製作だそう。日本の東レのカーボンが使われていたり、日本との関係もあるようだ。SHOPでボーイング社名入りのグッズを購入後、他ルートでシアトル中心部へ。シアトル



ルのシンボルである高さ184m

の「スペース・ニードル」へ上る。市内一望出来見晴し最高。記念撮影をしたり、ガラス張りの床をこわごわ歩いたりした後、フードコートで夕食後、またまた大渋滞の中オリンピアへ。到着したのは9時近くになっていた。楽しくも長い一日でした。(森本篤子、山本万亀子)



ホームステイ日誌

9月27日(金)・・・Mt. レーニアへの1日ツ

アーの予定が悪天候のためキャンセルになりました。しかし急きょ別の企画を
考えて下さり、オリンピア市内から北西に2時間行った所にあるクイノールト



湖に行き湖畔の遊歩道を
歩きました。100年前
に建てられた素敵なロッ
ジで昼食をとり、その後
認定ガイドによるとても
興味深い先住民の歴史に
ついて話を聞きました。



それから世界一(?) 巨大な木ダグラスファーを見
に行き、オリンピア独特の気候による温帯雨林を歩
きました。楽しみにしていた Mt. レーニアは滞在中

残念ながら見る事はできませんでした。(今井綾)

9月28日(土)・・・フリーディ ホストマザー・レニー・コーコラン

8:00 朝食(トースト・紅茶・フルーツ) レニーは予定が有り、外は雨本降
りで、散歩も行けず、家の中で過ごす。10:00 書棚3本を運送屋が取りに来



て、リサイクルショップ迄運んで
貰い\$70 ゲットに同行。11:30
priest point park にて、レニー
が所属するブッククラブのポット
ラック・ミーティングに参加、リスが覗きに。13:30 レ
ニーの体調優れず途中で退席。14:00 104才のママが入所
するホームを訪問。15:00 帰宅、各自昼寝。16:00 夕食
作り・チラシ寿司・ソーメン・味噌汁 17:00 夕食(レニー
はソーメンだしがお気に入り) (中江書子・吉良末子)



9月29日(日)・・・ニスクアリー国立野生動物保護区は、ワシントン最大の未
開発のデルタの本拠地です。このデルタには300以上の魚類と渡り鳥を含む
275種類以上の野生動物が生息しています。ここの部族の指導者であり権利
条約活動家であるビリー・フランク・ジュニアに敬意を表し命名された。次に



訪れたタコマガラス美術館は、ガラスアートとガ
ラス製作に特化し、西海岸で最大のガラススタジ
オを持つ美術館です。ガラスを吹くプロのアーチ
ストも見られる。その後訪問したグレートーオリンピアの学生オーケストラ



は、2人の高校生がここのドアをノックした事から始まり、30以上の各学
校から125人の若い音楽家たちに優れた音楽教育と演奏をする機会を与える組織です。(池内サチ子)

ホームステイ日誌

9月30日(月)…市庁舎、州議事堂訪問

市長、議員は皆パートタイムで他に仕事を持っているとの事、大変驚いた。州の議事堂は美しいドーム型建築で、高さは全米一。内装はドイツ・ベルギーなど数々の国原産の大理石を使用。上下両議院有1854年より議会は開かれている。その後、木材港訪問、大半の木材は中国・日本へ輸出される。



牛の輸送方法など詳しく説明を受ける。構内の電力はソーラーパネルでの太陽光で賄っているとの事。Farewell party はゴルフクラブ場で開催され、地元の高校生による四重奏、AC、HCの挨拶、法被姿で河内音頭、写真撮影等があり、和気藹々でもあり、少し寂しい気持ちも有りだった。(萬野満里子)

ステイ後オプショナルツアー

ヨセミテ、サンフランシスコ(10月1日～5日)…ヨセミテ公園

近くのホテルに1泊後、大型バスでヨセミテ公園に向かう。トンネルを抜けるとハーフドーム、ブライダルベールフォールが目の前に広がる。バスを降りエルキャピタンでロッククライミングをしている人を見つけて大喜びした。



観光シーズンも過ぎ人も少ない

公園で静かな散策を楽しみ、鳥やリス、鹿と出会うことができた。また公園内で最も歴史のあるホテルでの昼食も素敵だった。翌日、半日サンフランシスコ観光。ツインピークスからサンフランシスコ全景を楽しむ。サンフランシスコ公園、ゴールデンゲートブリッジを写真に収めフィッシャーマンズワーフで



蟹に舌鼓を打つ。午後は自由行動でケーブルカーに乗りショッピングや街を散策した。夕食はイタリアンレストランで最後の夜を楽しんだ。(山田多津美)

トロント、ケベック(10月1日～7日)…初日に、AIRカナダのフライトキャンセルがあり、その不親切対応に大いに憤りつつ、夜7時トロント到着。翌日友人の車で隣の町 Guelph へ移動し、しっとりとした古き町に



感動。2泊後念願のVIA鉄道に乗車しケベックへ。昔ながらの単線列車の車窓から黄色の木々が額に入った油絵に見えた。終点のケベック駅でIivさんと再会し、彼女のセントローレンス川を一望できるマンションにステイ。この街には英仏の植民地時代の戦いの面影が残り、時折聞こえるフランス語が心地良く聞こえるのは何とも不思議だった。最後の夜に2017年大阪クラブにステイしたメンバー4人



のhome-partyに招待された。日本生活を取り込み日々楽しんでおられる様子を拝見し嬉しく思った。ディナーの後、皆でお抹茶を楽しみ、再会を念じつつ、2泊のケベックでのステイを終えた。(安藤ツヤ子)

初めての渡航

今回FFに入会して初めてのホームステイを経験させて頂きました。渡航前は、どんなお土産を持っていけばいいのか、日本の事について聞かれたら答えられるかなーとか、浴衣をどうしよう、などと落ち着かない日々でしたが、訪れてみると空気は美味しいしステイ宅も広々としていて、忙しいけれど毎日が楽しくて、あっという間に一週間が過ぎてしまいました。すべてボランティアで成り立っているなんて信じられないくらい私たちの食事、ドライブ、案内などを早朝からでも快くお世話していただき驚きました。団体で行くツアーでは得られない大切な経験をさせて頂き感謝しています。(森谷喜代美)



初めての渡航



初めて訪問する国で、初めてお会いする方のお宅に滞在すると言う、未知の体験を前に緊張していましたが、にこやかに迎えてくださったTedとGwenにお会いした瞬間、暖かいお人柄が伝わりホッと緊張が解れたように感じました。お二人とゆっくり過ごせたのはフリーデイだけだったのが少し残念でしたが、カフェで

の朝食やファーマーズマーケットで見つけた松茸や法蓮草でお吸い物とお浸し、日本から用意していった稲荷寿司等を作り喜んでもらえた事、私のつたない英語も熱心に聞いて頂き、時には爆笑しながら会話を楽しめた事等々はホームステイならではの素晴らしい経験でした。(南山市子)

英語の会

ENGLISH

「会員相互の英語力アップと親睦を深め、交流にも役立てよう」という趣旨で、2018年11月に立ち上げて1年たった。この1年で、9回開き、参加者は毎回13、4人程度。これまでドイツのファーレルクラブの受け入れを控えて、実際



に京都に出向いて、簡単な英語での京都案内にトライしたり、平成から令和と変わった元号の事について英語で学んだり、オリンピック渡航を控えた8月には、ホストファミリーへの自己紹介文の書き方などを学んだ。参加者のレベルもまちまちなので、互いに学びあって、英語の理解を少しでも深められればと思う。開催は原則、毎月1回、委員会開催日に実施している。参加料は300円。皆さんの参加をお待ちしています。(河村千津子)

新入会員紹介

今年4月以降、新たに3人が加入され、総勢57人となりました。

川村 剛さん(高石市)

大阪生まれの大阪育ちです。会社勤務時代に



は英語や外国人との接点はなく、京都で外国人に対する観光ボランティアガイドと知り合う機会があり、啓発されて英語を学びなおすことにしました。たいして上達はしませんが、外国人に対する恐怖心は減じたと思います。観光の他に先日のラグビーワールドカップのボランティアもしました。人生一度のいい経験となりました。このノーサイド等の精神が広がっていけばうれしいです。今後、皆様と交流の輪を広げていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

FF 日本大会報告



第31回FF日本大会

が10月27日、静岡市のグランディエール・ブケトーカイで開催された。全国26クラブから200名のメンバーが集まり、我が大阪クラブからは10名が参加した。台湾の新竹クラブから2名の特別参加もあった。FFI本部からは会長のJeremi Snook氏が出席しFFIの今後の活動計画について説明があった。大西FFI理事からのFFI Board meeting 報告に始まり、ブロックのFR（フィールドレップ）から各ブロック会議の報告、事前アンケートのまとめ報告（①ストップオーバーの交流日数および交流フイーについて、②FF紹介のためのチラシについて）をもとに今後の進め方について議論を行った。最後にFFJの運営状況についてFFIのRSM(Regional Support Manager)金元氏から報告、提案がなされた。午後からの全体会議では、FFI Jeremi 会長の講演、代表者会議報告、日本コミュニケーションネットワーク会議報告、外部講師を招いての静岡紹介と富士山信仰についての講演があり、グループ討論で締めくくった。最後は恒例の懇親会で大いに盛り上がりメンバーの絆を深めた。来年の開催地の熊本クラブのプレゼンテーションで閉幕された。（池田政綱）



度重なる災害直後の日本大会、心の痛む足取りでしたが、開催地静岡クラブの皆さんの熱きおもてなしと魅力溢れるプログラムに心が癒される時間となりました。テーブルを囲めばシニア層、山積みの課題に革新的な意見が飛び交う元気さ、身を乗り出してはうなずき、分かち合えた満足感は笑顔一杯でした。気持ち次第で未来が見えてくることも教えられました。（飛岡佐恵子）

昨年松山で静岡クラブの皆さんから、「来年はウチがやりますからぜひ来て下さいね。」と言われていました。約束を果たしてホッとしています。Jeremi Snook 会長以下200余名の参加者。盛況でした。私自身は2005年にFFに加入して12回目の日本大会でした。グループ討論の課題は特段目新しいものはありませんでしたが、共通の話題を議論するのは意義ある訳でそれはそれで良かったと思います。（森本吉彦）

日本大会参加回数、クラブでの活動歴や立場等が異なる人達との交流を通じて“課題は何処も同じ”と

の実感を得たり、“取り組み”を知る事を通じて刺激を受けたりする事が多々あった。静岡クラブの準備や当日の進行にも苦勞の跡が窺えた。合間にFFIのJeremi 会長、来春共同で受け入れする東京クラブのAC、HCの方々と言葉を交わす事も出来て有意義な時間を持てた。（佐藤啓一）



行ってきました世界大会



第41回FF世界大会が、7月23日（火）から25日（木）、アメリカ合衆国コロラド州ボルダーのコロラド大学で行われた。24日の開会式は8:50に始まり、ボルダー市長の歓迎あいさつの後、世界23か国から参加した432人が国別に紹介された。日本からは7クラブ16人が立って団扇を振りアピールした。そして、特別講演、FFIジェレミ会長の式辞と続いた。学生食堂で昼食の後、3回のWorkshop Sessionが行われた。夕方は、三重クラブのKanta Okidokiteiさんが英語落語と南京玉すだれを演じた。翌日の25日、Workshop Sessionは昼食をはさみ、午前中に3回、午後に2回行われた。2日間にわたる8回のWorkshop Sessionは21のテーマに分かれていた。夕方6時、バスで下町に移動して“Bluegrass in Boulder”という名のピヤガーデンでBBQパーティーに参加した。特別賞やクラブ賞などの表彰式も行われた。ジェレミ会長の提案で、全員で花道を作り、FFIスタッフに感謝のハイタッチをする場面もあり、形式にこだわらない新しい閉会式だった。次回は2021年、台湾の高雄で開催される。大会後、私たち夫婦を含む5か国13人（ベルギー2人・ケニア3人・韓国2人・日本2人・アメリカ4人）でノーザンコロラドクラブに4泊5日のホームステイをした。（朝倉隆夫）



リレー随想

FFOと私 ②

内山充子

十七年前、三か月の間に主人と母を見送った私に、FFOへの誘いを受け直ぐに入会、知らぬ間に委員の末席に名を連ねていた。その後四人の会長の下、毎年受入れ、渡航に参加して沢山のホスト、アンバサダーと交流出来た事は私の宝物です。中でも初めてEDをした静岡クラブとの国内交流は、素晴らしい日本一の富士山を心行くまでみせて貰い、ミカン狩りの体験もさせてもらいました。何より静岡のEDだった前田さんとの出会いは生涯忘れられない思い出です。今でもご夫妻とは良い交流を続けております。日本大会、中部ブロック会議での再会を何より楽しみにしています。その為にもこれからも出来るだけ参加をしようと思っています。インドネシアのホストの息子アジとは、彼が慶応大への留学で交流を深めました。四年間で何度も遊びに来てくれましたし、本当にかわいい孫です。残念なことに昨年卒業して、三井住友銀行インドネシア支店へ就職して帰国しましたが、いつの日か又会える楽しみが出来ました。沢山のホスト、アンバサダーとの交流を通して、本当に素晴らしい出会いが出来たのはFFOのお蔭だと心より感謝しております！

（次回は森本吉彦さん）





台風15号接近の9月18日の日曜、納涼ディナークルーズ船が26名の会員を乗せ大阪中之島の栈橋から18時に出航した。9月とは言え残暑。7月の委員会で今年初めての試みとして、企画された。委員全員で希望地を模索したが、京都大阪神戸と集まる会員のことも考え大阪に落ち着いた。ビル群を縫って進み大阪城もライトに照らされ、しばしうっとりした。写真撮影で船が傾くのではないかとスリルも味わった。

真面目なFFは、ただの食事会にあらず。始めに「FFの現状と問題解決のための取り組み」の勉強会で気持ちを引き締めた。次々に運ばれてきたイタリア料理も完食。会員の方たちとの親睦と思い出になった2時間であった。(長谷部純子)



池田会長の船内での談話

「FFの現状と問題解決のための取り組み概要を説明。現在取り組んでいることとしては、① 会の活性化を図るため同好会活動として「英語の会」を立ち上げた。② 次に「手芸の会（仮称）」を立ち上げたい。③ 親睦行事を増やす等を推進中である。



2020年春、USAノーザンイリノイからアンバサダー来訪

イリノイ州は大平原州というニックネームの通り平地が多く、元々農業州ですが、工業、商業、サービス業が発展し、その中心都市はシカゴで、ユニークな建築物、スポーツ、ジャズ等でも有名です。同クラブは、シカゴ近郊都市の人達で構成されており、来春は15名の方々が3月30



日に来日、東京クラブとの交流後、4月5日大阪入り、12日出国の予定です。寺社や城郭などの歴史的建造物や花見は勿論、皆さんとの交流を通じて日本文化を吸収する事を期待しておられます。全員でその期待に応えたいと思います。(HCは佐藤啓一、SHCは木原利幸、吉良末子) …因みに、イリノイは先住民族の言葉イリニウェク(秀でた種族の人々の意)が語源…

来年はベルジアンコーストクラブ(ベルギー)に渡航!



2020年度のアウトバウンドはベルジアンコーストクラブに決まりました。久しぶりのヨーロッパへの渡航です。観光地ブルージュに近く、65kmの砂浜が続く海岸は素敵なリゾート地域です。渡航時期等、詳細は年内に決定する予定です。ACをさせていただくのは初めてでわからない事ばかりですがHCのArletteさんとしっかり連絡を取り合い充実した楽しい渡航にしたいと思います。

(AC: 今井綾、サブAC: 山田多津美、池田政綱)

大阪クラブも近年、積極的に受入れ・渡航に参加してくださる会員が少なくなりました。特にホストファミリーの確保に苦慮しています。今年度7月より委員会の議事録を配信しています。受入れ・渡航に関する進捗をお知らせしますので、ステイホストだけではなく、ディナーホスト、デイホスト、送迎ホストなどご自分のできることに応募していただきますよう、よろしくお願いします。

日程	受入	来日クラブ
3月	埼玉	Greater Cincinnati, USA
	愛知	Solo-Surakarta, Indonesia
	西東京	Gold Coast, Australia
4月	愛媛	
	京都福知山	County Durham, UK
	愛知	
	大阪	Northern Illinois, USA
	東京	
	奈良	Sarasota, USA
	三重	Bogota, Colombia
	熊本	Cheyenne, USA
	宮城	
	新潟	
5月	郡山 (Stop over)	Napa-Sonoma, USA
	Mt.山梨 (Stop over)	
	鳥取	Taipei, Taiwan
	大分	
6月	大田群馬	Greater Lansing, USA
	福岡	Medicine Hat
10月	広島、武蔵野目黒	Global Youth Journey
	郡山	Manitoba, Canada
	愛媛	
	埼玉	Central Iowa
	東京	Ulan-Ude and Sochi, Russia
	奈良	
	長崎	Korolev, Russia
	札幌	Isle of Wight, UK
	静岡	
	岐阜	Limburg, Belgium

2020年 受入・渡航計画

日	クラブ	渡航先
3月	熊本	Santa Barbara, USA
4月	札幌	Vietnam
5月	東京	Oregon's Mid-Willamette Valley
	郡山	Sacramento
6月	静岡	Perth, Australia
	愛知	Greater Denver, USA
	愛媛	County Durham, UK
8月	西東京	Bristol, UK
		Cornwall, UK
		Greater Kiev
		英語研修 Sydney, Australia
		英語研修 Blue Mountains, Australia
	Japan	英語研修 Taupo, New Zealand
	新潟	英語研修 Thames Coromandel, New Zealand
	広島	Sherbrooke, Canada
9月	大分	Solothurn, Switzerland
		Banjarmasin, Indonesia
		Jakarta, Indonesia
	奈良	Karsiyaka Bay, Turkey
	三重	Cape Town, South Africa
	東京	Leuven, Belgium
	鳥取	Kuala Lumpur, Malaysia
	西東京	Noumea, New Caledonia
	宮城	Florianopolis, Brazil
	大阪	Belgian Coast, Belgium
10月	岐阜	Tamworth, Australia

奈良ウォーキングツアー



秋の親睦行事として、11月20日（水）、”奈良ウォーキング”を企画しました。「ならまち」を中心に、中将姫ゆかりの地と世界遺産の元興寺などを巡るツアーです。新しい会員で、奈良や京都に造詣が深く、検定も持っておられる、川村剛さんがガイドを務めてくださいます。古き良き生活風景を味わいながら秋色深い古都を是非一緒に歩きましょう。

総合フェスタ2019のご案内

大阪市生涯学習センター（大阪駅前第2ビル）を利用する団体・グループが、日頃の活動を紹介する総合フェスタが11月23日（日）に同センターで開催されます。大阪クラブは今年もブースを設け海外クラブとの交換活動を広く紹介します。このフェスタを通して新しく入会してくださる会員さんも増えてきています。78団体がさまざまな企画を考え出展していますので、十分楽しんで頂けると幸いです。



2018年の写真



忘年会

12月15日（日） 16:30～

場所 ハトヤ瑞鳳閣 7階

JR 京都駅中央口西よりすぐ、会費6500円予定

御所の中を巡って、御苑を散策しましょう

当日、忘年会の前、1時から4時半まで、御所と御苑でウォーキングツアーをします。平安の都に思いをはせながら御苑を散策してみませんか。京都グループが担当しますが、詳しくは11月中旬に案内があります。

総会

第18回総会と新年会（昼食と懇親会）が、来年1月19日（日）午後12時30分から、大阪市北区梅田ヒルトンイーストプラザB2F 四季自然喰処「たちばな」で開かれます。皆様の出席よろしくお願いします。詳細な案内は別途郵送します。

大阪クラブ役員募集中！

2020年度の新役員を一般会員から募集します。FF大阪クラブの将来は皆さんの双肩にかかっています。勇気をもって奮って手を挙げて下さい。待っています。

募集期限：11月末日、応募は事務局まで

編集後記

編集委員6名で各ページを分担して編集に当たりました。素人ばかりで薄暮の中の船出でしたが、何とか発行までこぎつけました。みなさんの大きな助力があつてこそと、一同深く感謝しています。（K）

編集発行 フレンドシップフォース 大阪クラブ
発行日 2019年 11月10日 第66号
事務局 〒573-0032 枚方市岡東町1-10
金山忠夫 Tel&Fax 072-846-4435
kanayama573@gaia.eonet.ne.jp
ホームページ担当 飛岡文夫
<http://ffosaka.pro.tok2.com/>
編集人 松香正俊・河村千津子・細井八千代
山田多津美・長谷部純子・内山充子
岩田幸子・朝倉隆夫